

# 「お小遣いは必要か？学級討論会をしよう」

－金銭の使い方を考え、自ら価値判断する姿勢を育てる－

福岡県久留米市立小森野小学校教諭 真子 関子

事例の位置付け	実施学年	第6学年	☆第6学年
	教科等	国語科	☆学級活動
	単元名	相手の意図を聞き取り、自分の主張を伝えよう。	学級討論会をしよう

## ねらい

- 小遣いの必要性を考えながら討論を行い、友達の意見を聞き自分の考え(価値判断)を見直すことができる。  
【国語への関心, 意欲・態度】
- 討論会の流れに沿って、小遣いの必要性、不必要性を聞き取ったり、自分の主張を明確に話したりすることができる。  
【話す・聞く力】

## 展開の特色

- 事前体験学習
  - ①修学旅行における予算案提出, および決算報告会
    - 活動に応じた生活設計力や家計管理能力をつける活動
    - ・修学旅行にむけ必要経費予算案の話し合い(2日間の交通手段・昼食代・入館料・みやげ代・その他)
    - ・修学旅行後の決算報告会(クーポン券等の利用, 市電の節約, 昼食代の割り勘など予算を切りつめた工夫や, 絵はがき, おみやげ代等予算オーバーに関わる報告)
- 本単元活動
  - ①討論会にむけた資料集約(校内で実施された小遣いの使い方アンケートの集約や分析, 修学旅行での決算報告会の有用性, 保護者へのアンケート結果, 学級内の小遣いについてのアンケート結果など)
    - 客観的データにもとづく価値判断力をつける活動
  - ②毎月決まった金額の小遣いをもらうことについて, 肯定派・否定派に分かれた討論会
  - ③保護者の討論会参加
    - 家庭からの金銭の使い方提言活動
  - ④家庭での討論会実施と結果報告会(両親と自分とで家庭内討論会)
    - 金銭の有効な使い方を家庭で見つめ直す活動

## 構成

- 第1次 討論会の準備や進め方について概略をつかむ。(2時間)
- 第2次 討論会にむけて2チームに分かれそれぞれの主張点をつくり資料準備を行う。(2時間)
- 第3次 討論会を行う。(家庭討論会・事後活動)(1時間) <本時>

## 事前の準備

- 学級内でのアンケート実施と集約結果のグラフ資料
  - ・小遣いを毎日もらっているか
  - ・どのようなことに使っているか
  - ・必要性
 } 等
- 保護者への意識調査をまとめた資料
- 修学旅行で相談しながらフィールドワークをした時のビデオ・写真
- 模造紙に書いた主張点
- 討論の進め方ワーク(司会用)

## 次時の予告, 用意

- 学級の討論会を受けての家庭討論の内容確認
- 討論内容の記録ワークシート

## 本時の展開



- 本時の目標**
- お小遣いの必要性について, 実生活をふりかえったり, 資料を提示したりしながら, 説得力のある発言をすることができる。
  - 討論会を終えて, お小遣いの必要性について自分の考えをまとめることができる。

学習内容	学習活動
<b>つかむ</b> ①本時学習のめあてをつかむ。 「毎月決まったお小遣いが必要かどうか討論会をしよう」	①ノートを振り返りそれぞれの主張と討論テーマの確認をする。 <肯定派チームの主張> 「毎月決まった小遣いをもらって, そのなかで必要な物を買うことでお金の大切さをしっかり考える力がつく。」 「ほしい物がある時, お小遣いを貯めて買うなど我慢する力がつく。」

教師の支援, 指導上の留意点	資料
・肯定派・否定派それぞれの主張点を掲示しておく。 ・毎月決まったお小遣いの必要性に論点がおかれるように, お年玉など特別にもらっている小遣いとは区別することを確認しておく。	・お小遣いについてのクラスアンケート

# 1. 生活設計・家計管理

	学習内容	学習活動
つかむ		<p>&lt;否定派チームの主張&gt; 「家族が働いて得るお金を簡単にもらうべきではない。」 「必要な物はその時々にもらえばいい。余分なお金を持っていると使いたくなるから無駄である。」</p> <p>テーマ 「毎月決まったお小遣いは必要だろうか。」</p> <p>②めあてを確認する。</p>
	<p>2 討論会を行う。</p> <p>①開会宣言 ②テーマの確認 ③はじめの主張 ④質疑 ⑤終わりの主張 ⑥フロアからの感想 ⑦閉会宣言</p>	<p>①チーム代表5名による主張点発表</p> <p>&lt;肯定派チーム&gt; 「修学旅行での経験から、決まった金額をどのように使うか予算をたてたり、毎月決算をだして、見直したりすることで、お金の大事さをあらためて考える事ができるようになる。だからこそ毎月のお小遣いは必要だと考える。」</p> <p>&lt;否定派チームの主張&gt; 「必要なものは、その都度買ってもらえているし、全校アンケートからも小遣いをもらっている人が多い学年の方が無駄使いも多くなっている。だから、毎月のお小遣いは必要でないと考える。」</p> <p>②それぞれのチームに質問をする。</p> <p>&lt;否定派チームへの質問&gt; 「お金を持っていると無駄使いにつながるということだが、親の管理のもとお金を使っていても自分で考える力はつかないのではないか。」</p> <p>&lt;否定派チームから&gt; 「余分なお金がある人ほど、人におごったり、物をあげたりしている結果がある。まだ、自分で考える事は難しく親に管理してもらっても十分いいのではないか。」</p> <p>&lt;肯定派チームへの質問&gt; 「毎月決まった金額をもらう必要はないと思う。そんなに買うものがある方が無駄使いなのではないか。」</p> <p>&lt;肯定派チームから&gt; 「お小遣いは使い切ってしまう必要はない。必要な物をその都度買ってもらっては、いくら親に負担させているか分からない。自分で買った記録をつけることで本当に必要かどうか考える力がつくのではないか。」</p> <p>③お互いの主張や返答をうけて、それぞれのチームに分かれ、終わりの主張をまとめ発表する。</p> <p>&lt;肯定派チーム&gt; 「毎月決まったお小遣いといっても、高額をもらうわけではなく、自分の生活から必要額を決め、計画的に使うことが大切です。自分たちの生活設計にとって必要な力がつくのでお小遣いは必要だと考えます。」</p> <p>&lt;否定派チーム&gt; 「毎月決まった額はやはり必要性を感じない。しかし、必要な物だからとすぐ『買って』というのではなく計画をたててお金を出してもらう必要はあると思っ</p>

教師の支援, 指導上の留意点	資料
<p>・討論会がスムーズに行えるように、事前に討議者5名を選出しておき、他のメンバーは質問者になるように机を配置しておく。</p> <p>・どちらのチームか分かるように色分けをし、手首に紙テープを巻いておく。 肯定派 19名 赤 否定派 15名 青</p> <p>・相手チームの主張を聞いての質問内容を考えるように助言する。</p> <p>・質問への答えが空論にならないように、これまで集めてきた資料を提示し、データにもとづいた返答になるように助言する。</p> <p>・全校や学級でとったアンケート結果をグラフ化して提示しやすいようにしておく。</p> <p>・結論を出すのではなく、必要な物をどのように判断し、購入していくか考えさせ、お小遣いの必要性をもう一度考えることを助言する。</p> <p>・はじめの主張と変化したことが分かるように主張カードを並列して、黒板に並べる。</p>	<p>・討論の進め方  <b>ワークシート</b> No.1 (→ p.67)</p> <p>・修学旅行フィールドワーク用出納帳  <b>ワークシート</b> No.2 (→ p.68)</p> <p>・小遣いの金額と使い方まとめ</p> <p>・校内アンケート結果  資料 1 (→ p.66)</p> <p>①学年別小遣いをもらっている人数 ②学年別無駄使いの経験者人数 ③お金を大事にしているか意識調査結果</p>







ワークシート No.2 修学旅行フィールドワーク用出納帳

楽しく、満足できるお金の使い道

予算をたてよう		実際はどうだったかな		
交通費		交通費		
	使い道・交通手段	金額	使い道・交通手段	金額
1日目				
2日目				
入場料・資料代		入場料・資料代		
2日目昼食・場所・メニュー・金額		2日目昼食・場所・メニュー・金額		
小遣い4,000円の使い方		小遣い4,000円の使い方		
1日目				
2日目				
合計		合計		
残金		残金		

ガイドブックの利用にあたって

生活設計・家計管理

金融や経済のしくみ

消費者保護・トラブル未然防止

キャリア教育

ワークシート No.3 討論会シート 2

氏名

めあて

1. はじめの主張

2. それぞれの主張点を聞いての質問・意見

3. 終わりの主張

4. フロアからの考え ※はじめの主張から変化したところは赤でかこんでおく

今日の学習で考えたこと

5. 家庭内討論会にむけて

ガイドブックの利用にあたって

生活設計・家計管理

金融や経済のしくみ

消費者保護・トラブル未然防止

キャリア教育